



東洋水産から株主の皆様へ

# 第60期 中間決算のご報告

2007年4月1日～2007年9月30日

証券コード：2875



TOYO SUISAN

東洋水産株式会社



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、当社第60期中間決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長  
**堤 殷**

### 当中間期の概況（連結）

わが国の経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善等を背景に個人消費が持ち直しつつあり、景気は緩やかな回復基調にありました。米国の経済につきましては、消費は緩やかに増加しているものの、住宅建設の減少等により景気回復は減速傾向にありました。

当食品業界においては、原油価格の高騰による原材料価格の上昇、少子高齢化による市場の縮小傾向などから企業間競争は一層激しさを増し、依然として厳しい状況が続いております。また消費者の食の安全面に対する厳しさは引き続き増しており、当業界は今まで以上に品質管理の強化への対応、環境問題への対応など企業の社会的責任がますます求められております。

このような状況の中、当社は、「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを目的に、ISOの認証取得に取り組んでまいりました。また厳しい販売競争に対応するため、グループの生産・物流体制の再構築を進め、より一層のコスト削減ならびに積極的な営業活動を推進してまいりました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高は前中間連結会計期間に比べ0.8%減収の156,321百万円、営業利益は前中間連結会計期間

に比べ1.4%増益の9,098百万円、経常利益は前中間連結会計期間に比べ13.9%増益の11,461百万円、中間純利益は前期に連結子会社の田子製氷(株)を株式交換により完全子会社とした際に発生したのれんの減損損失を特別損失に計上したこと等により前中間連結会計期間に比べ大幅な増益の5,515百万円となりました。

### 通期の見通し（連結）

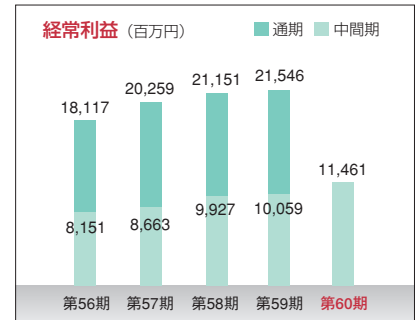
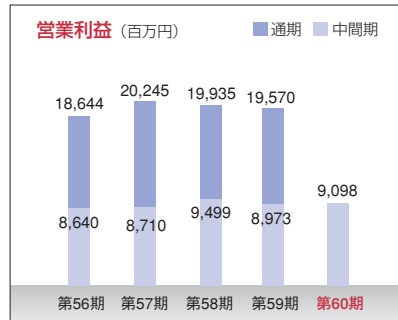
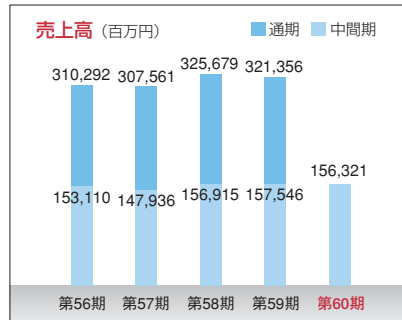
わが国の経済情勢は企業収益の好調さが持続し、家計部門へ波及することが予想され、国内民間需要を中心とした景気回復基調が維持されると想定しておりますが、米国経済や原油価格の動向が内外経済に与える影響には引き続き留意する必要があるものと思われま。米国経済は住宅投資の減少の持続等の要因を通じ家計部門を中心に景気は弱めの動きが続くものの、住宅関連以外の企業収益の堅調さ等が景気の下支えに作用すると想定しております。

当食品業界におきましては、原油価格高騰や世界的な穀類の高騰が企業収益へ与える影響は大きく、企業は商品価格の値上げを余儀なくされ市場環境は厳しい状況にあります。また、食の安全・安心など企業の社会的責任がますます求められていくものと考えております。当社におきましては、さらに地域別・商品別の販売促進を強化した積極的な営業活動を実施するとともに、前期と同程度の経常利益の達成を目指しております。また費用面でもより厳しい販売競争に対応するため、物流の再構築・生産部門での徹底したコストの削減に注力していく所存であります。

以上により、通期の売上高は320,000百万円、経常利益は21,600百万円、当期純利益は11,000百万円を見込んでおります。

2007年12月

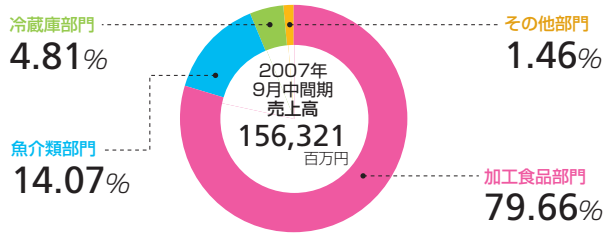
### ■ 連結決算ハイライト





## セグメント情報

### ■ 事業セグメント別売上高



### 加工食品部門



加工食品部門の主要事業である国内即席麺事業のうち、カップ麺においては和風麺主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」「黒い豚カレーうどん」を対象とした「映画「西遊記」協賛キャンペーン」の実施、新製品「辛い牛カレーうどん」の投入など、積極的な販売促進をかけたが、和風麺主力商品は微減となりました。また、ノンフライ麺の主力商品である「麺づくり」並びに縦型カップ「ホットヌードル」は順調に推移しましたが、カップ麺全体ではやや前年割れとなりました。袋麺においては、各地区における主要取引先との販促強化等により、「昔ながらシリーズ」「屋台十八番シリーズ」が伸長し、袋麺全体では増収となりました。また、ワンタン類においては、猛暑の影響が著しく、微減となりました。

生麺事業の売上は、主力の「焼そば3人前」及び新製品・リニューアル品の好調さに加え、猛暑により冷しラーメンが好調に推移したことにより全体では前年を上回る実績となりました。

冷凍食品事業の売上は、冷凍野菜は減収となりましたが、業務用冷凍麺及び市販用冷凍食品が順調に推移したことにより全体では前年を上回る実績となりました。

米飯類の売上は、平成18年7月に無菌米飯第2ラインが稼動を開始したことから、今期は積極的な販売促進を展開し、市場の伸びを上回る実績となりました。

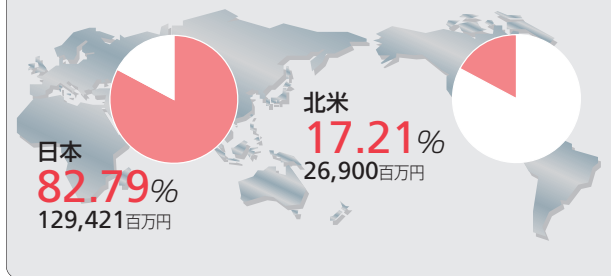
その他加工食品の売上は、「もずくスープ」を中心としたフリーズドライスープ類が堅調に推移しました。

以上の結果、加工食品部門の国内売上は、総じて順調に推移しました。

また、海外売上高は微増となりました。

その結果、加工食品部門全体の売上高は、前中間連結会計期間に比べ0.8%増収の124,531百万円、営業利益は原油高に伴うコスト増加等が影響した結果、前中間連結会計期間に比べ1.4%減益の7,638百万円となりました。

### ■ 所在地別売上高



### 魚介類部門



魚介類部門は、中国、ロシア、欧米諸国の旺盛な買付け意欲による原料高騰の影響及び中国製品の安全疑惑報道の影響により販売数量、金額ともに減少した結果、売上高は前中間連結会計期間に比べ9.9%減収の21,987百万円となりました。営業利益はサバ、シシャモ、タラ等の販売は低迷しましたが、魚卵、鮭鱒、イカ、カニ等の高付加価値加工品の販売を強化した結果、前中間連結会計期間に比べ1.4%増益の436百万円となりました。

### 冷蔵庫部門



冷蔵庫部門は、水産物の漁獲量の減少、輸入貨物の減少等による影響を受け、取扱量が前年と比べ減少いたしました。また、顧客の在庫圧縮の流れが続いており、在庫数量は依然として低水準で推移しております。高収入貨物への転換、営業強化による貨物集荷を努めましたが生産数減少の影響から保管料収入が伸びなかった結果、売上高は前中間連結会計期間に比べ0.3%減収の7,525百万円、営業利益は前中間連結会計期間に比べ6.6%減益の612百万円となりました。

### その他部門

その他部門は、主に輸入牛肉・輸入加工食品の販売ならびに不動産賃貸であり、売上高は前中間連結会計期間に比べ9.6%増収の2,276百万円、営業利益は前中間連結会計期間に比べ193.4%増益の408百万円となりました。

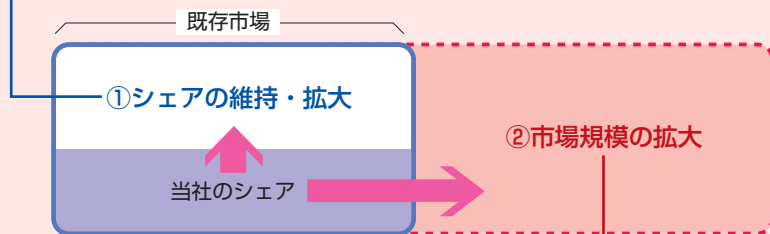
## 家庭で楽しめる本場の味わい。 豊富な品揃えと明確な販売戦略で、生麺を全国の食卓に。

### ■2つの戦略を柱にシェアNO.1を獲得。

生麺は、“家庭で手軽に味わえる本格的おいしさ”が支持され、根強い人気をいただいています。当社では、生麺の販売戦略を明確化することで、この市場においても業界をリードする役割を担ってきました。販売戦略には2つの柱があります。1つめの柱は、ヒット商品として市場に定着した「定番商品の一層の充実」を図っていくこと。2つめの柱は、春夏・秋冬それぞれのシーズンに向けて、「新感覚の提案型商品」を発売することです。豊富なラインアップとブランドの育成で、お客様の幅広いニーズにお応えする。更に、食の新しいトレンドやニーズを捉えてユニークな提案型商品を開発し、ファン層を拡大していく。この2つの戦略を軸にした商品開発によって、シェアの維持・拡大と生麺市場全体の拡大を図っていくことができると考えています。現在、生麺においては、全国に販売網・流通網を確立し、シェアNO.1を獲得しています。その中で、近年は、「生ラーメン2食入」群において、シェアの拡大が進んでいます。

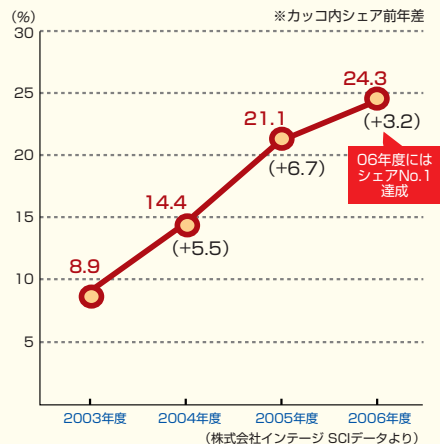
### 商品開発の基本的な考え方

- 豊富なラインアップ：価格帯を広げた、豊富な品揃えにより、幅広いニーズにお応えしています。
- ブランドの拡大育成：新ブランドの投入やキャンペーンなどによる既存ブランド育成を実施しています。
- 既存商品の改善改良：パッケージデザインのリニューアル、品質の改善などに注力しています。



- 新規ユーザーの開拓：新たな市場機会を掘り起こし、新規顧客を獲得します。
- 新しい用途の開発：メニュー提案や提案型商品により、新たな需要を創出します。
- 喫食の頻度の拡大：昼食中心から夕食・朝食などへ利用機会の拡大を図る提案を行っています。
- 高付加価値型商品の充実：市場の活性化につなげます。

### ●「生ラーメン2食入」シェア推移



## ■充実を図る、生ラーメンの品揃え！

生麺の開発に当たっては、料理の「素材（材料）」としてすぐれていることや、特別なメニューではなく、つねに身近で「日常」的なメニューとして家庭内の「食卓」で楽しんでいただけることなど、「素材」「食卓」「日常」を満たす商品こそが売れ筋になり得ると考えています。定番ヒット商品となった「北の味わい ざるラーメン」シリーズや、「北の味わい 生ラーメン」シリーズ、「九州ガラ炊き 生ラーメン」シリーズは、家庭でお手軽に楽しめる本格的な味わいに高い支持をいただいております。また、提案型商品として発売した春夏向けの「冷しゃぶサラダ用ラーメン」、秋冬向けの「鍋用ラーメン」は、アニメキャラクター“ちびまる子ちゃん”を採用し、お客様の支持を拡大しております。また、秋口には“ちゃんこダイニング若”監修の「ラーメンでめるちゃんこ鍋の素」シリーズや、北海道直送の「北の国から 札幌ガラ炊き」シリーズを発売して、更なる生ラーメン類の充実を図っています。



北の味わい  
ざるラーメン



北の味わい  
醤油とんこつラーメン

生麺市場では、バラエティ豊かな「2食生ラーメン」シリーズの人气が高まっています。

### 【定番ヒット商品】



北の味わい  
味噌とんこつラーメン



北の味わい  
塩とんこつラーメン



北の味わい  
辛みそラーメン



北の味わい  
ざるラーメンごまだれ



北の味わい  
赤辛ざるラーメン



九州ガラ炊き  
黒とんこつラーメン

### 【提案型商品】



冷しゃぶサラダ用ラーメン



鍋用ラーメン

### 【07年秋冬新商品】



ラーメンでめるちゃんこ鍋の素  
伝承の塩味  
(ちゃんこダイニング若 監修)



北の国から  
札幌ガラ炊き濃厚味噌ラーメン



## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2007.9.30	前中間期末 2006.9.30	前期末 2007.3.31
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>109,759</b>	<b>102,115</b>	<b>105,083</b>
現金及び預金	41,834	31,431	37,141
受取手形及び売掛金	42,729	43,501	43,271
有価証券	85	-	86
たな卸資産	20,327	22,171	20,126
繰延税金資産	1,422	1,067	1,670
その他	3,611	4,026	2,991
貸倒引当金	△250	△83	△205
<b>固定資産</b>	<b>109,205</b>	<b>114,444</b>	<b>114,769</b>
有形固定資産	88,395	92,967	91,530
無形固定資産	2,128	2,562	2,562
投資その他の資産	18,680	18,914	20,676
<b>資産合計</b>	<b>218,964</b>	<b>216,560</b>	<b>219,852</b>

科目	当中間期末 2007.9.30	前中間期末 2006.9.30	前期末 2007.3.31
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>52,288</b>	<b>44,266</b>	<b>55,456</b>
固定負債	16,647	26,906	16,894
<b>負債合計</b>	<b>68,936</b>	<b>71,172</b>	<b>72,351</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>139,303</b>	<b>133,110</b>	<b>135,080</b>
資本金	18,969	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412	21,412
利益剰余金	105,888	96,552	101,597
自己株式	△6,966	△3,823	△6,898
評価・換算差額等	△277	2,206	1,907
その他有価証券評価差額金	1,286	2,953	2,555
繰延ヘッジ損益	16	160	△0
為替換算調整勘定	△1,579	△907	△646
少数株主持分	11,000	10,069	10,512
<b>純資産合計</b>	<b>150,027</b>	<b>145,387</b>	<b>147,501</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>218,964</b>	<b>216,560</b>	<b>219,852</b>

#### 会計方針の変更・追加情報

1. 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当中間連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。  
また、この法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却方法の適用により取得価額の5%に達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。
2. 当中間連結会計期間における税金費用について、一部の連結子会社は従来簡便法による税効果会計を適用しておりましたが、税金費用をより合理的に配分するために、当中間連結会計期間から原則法による税効果会計を適用しております。

## 中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007.4.1~2007.9.30	前中間期 2006.4.1~2006.9.30	前期 2006.4.1~2007.3.31
売上高	156,321	157,546	321,356
売上原価	100,612	101,981	205,365
売上総利益	55,708	55,565	115,991
販売費及び一般管理費	46,609	46,591	96,420
営業利益	9,098	8,973	19,570
営業外収益	2,871	1,485	2,779
営業外費用	508	400	803
経常利益	11,461	10,059	21,546
特別利益	536	1,114	1,390
特別損失	1,356	5,572	6,040
税金等調整前中間（当期）純利益	10,640	5,601	16,896
法人税、住民税及び事業税	3,662	3,699	8,741
法人税等調整額	739	989	1,062
少数株主利益	723	608	915
中間（当期）純利益	5,515	304	6,176

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007.4.1~2007.9.30	前中間期 2006.4.1~2006.9.30	前期 2006.4.1~2007.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,096	6,973	20,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,808	△11,414	△8,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,026	△6,573	△8,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△380	42	61
現金及び現金同等物の増減額	△1,119	△10,972	4,041
現金及び現金同等物の期首残高	36,868	32,826	32,826
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	35,748	21,853	36,868

### 中間連結財務諸表 POINT

#### <中間連結貸借対照表>

前中間期末に比べ総資産が2,404百万円増加しております。主たる要因は資産では固定資産が減少したものの現金及び預金が増加し、負債純資産では利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### <中間連結損益計算書>

前中間期に比べ売上高は0.8%減収の156,321百万円となりましたが、中間純利益は前中間連結会計期間にのれんの減損損失4,121百万円を特別損失に計上したこと等により前中間連結会計期間に比べ大幅な増益の5,515百万円となりました。

## 中間連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	当中間期（2007.4.1~2007.9.30）										
	資本金	資本剰余金	株主資本利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
平成19年3月31日残高	18,969	21,412	101,597	△6,898	135,080	2,555	△0	△646	1,907	10,512	147,501
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△1,225		△1,225						△1,225
中間純利益			5,515		5,515						5,515
自己株式の取得				△67	△67						△67
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△1,268	16	△933	△2,184	488	△1,696
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	4,290	△67	4,222	△1,268	16	△933	△2,184	488	2,526
平成19年9月30日残高	18,969	21,412	105,888	△6,966	139,303	1,286	16	△1,579	△277	11,000	150,027



## 中間個別財務諸表

### 中間個別貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当中間期末 2007.9.30	前中間期末 2006.9.30	前期末 2007.3.31
<b>資産の部</b>			
流動資産	80,430	77,845	79,286
固定資産	83,350	92,756	87,219
有形固定資産	53,820	54,802	54,811
無形固定資産	1,985	2,068	2,251
投資その他の資産	27,544	35,885	30,155
資産合計	163,780	170,601	166,506
<b>負債の部</b>			
流動負債	64,113	50,619	67,141
固定負債	11,385	20,936	10,993
負債合計	75,499	71,556	78,135
<b>純資産の部</b>			
株主資本	87,059	96,180	85,913
資本金	18,969	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412	21,412
利益剰余金	55,408	56,004	54,194
自己株式	△8,731	△206	△8,663
評価・換算差額等	1,222	2,864	2,457
その他有価証券評価差額金	1,223	2,862	2,458
繰延ヘッジ損益	△1	1	△0
純資産合計	88,281	99,045	88,370
負債純資産合計	163,780	170,601	166,506

### 中間個別損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当中間期 2007.4.1~2007.9.30	前中間期 2006.4.1~2006.9.30	前期 2006.4.1~2007.3.31
売上高	103,245	103,954	213,814
売上原価	59,761	60,956	123,889
売上総利益	43,484	42,997	89,924
販売費及び一般管理費	39,730	39,162	81,181
営業利益	3,754	3,834	8,742
営業外収益	2,183	1,099	1,794
営業外費用	464	403	794
経常利益	5,473	4,530	9,742
特別利益	531	674	941
特別損失	1,338	990	4,890
税引前中間 (当期) 純利益	4,667	4,214	5,792
法人税、住民税及び事業税	1,620	1,511	3,863
法人税等調整額	607	714	865
中間 (当期) 純利益	2,439	1,988	1,064

### 中間個別株主資本等変動計算書

(単位: 百万円)

	当中間期 (2007.4.1~2007.9.30)														
	株主資本													純資産 合計	
	資本金	資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	利益剰余金 合計	自己 株式	株主 資本 合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計				
平成19年3月31日残高	18,969	20,155	1,256	21,412	2,593	7,033	42,000	2,567	54,194	△8,663	85,913	2,458	△0	2,457	88,370
中間会計期間中の変動額															
剰余金の配当				-				△1,225	△1,225		△1,225				-
中間純利益				-				2,439	2,439		2,439				-
自己株式の取得				-					-	△67	△67				-
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)				-					-		-	△1,234	△1	△1,235	△1,235
中間会計期間中の変動額合計				-				1,214	1,214	△67	1,146	△1,234	△1	△1,235	△88
平成19年9月30日残高	18,969	20,155	1,256	21,412	2,593	7,033	42,000	3,782	55,408	△8,731	87,059	1,223	△1	1,222	88,281





## 商品ラインアップ

### 即席麺類

#### [和風麺シリーズ]



「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」「黒い豚カレーうどん」「あつあつ豚汁うどん」お馴染みの、和風麺シリーズは、ますますラインアップも充実して、ご好評を頂いています。大盛タイプやミニカップ、地域の嗜好に合わせた商品など、お客様の要望に合わせたきめ細かな対応を行っています。

#### [昔ながらシリーズ]



「昔ながらの中華そばしょうゆ」「昔ながらのみそラーメン」「昔ながらのとんこつラーメン」発売以来、順調に売上を伸ばしているノンフライ袋麺シリーズ。麺は北海道小麦100%使用。だしの効いたスープが麺のおいしさを更に引き立てます。

#### [ワンタン]



「ワンタンしょうゆ味」なめらかな食感が自慢のワンタンしょうゆ味。お夜食やランチのサイドメニューとして好評です。

#### [麺づくりシリーズ]



「麺づくり鶏ガラ醤油」「麺づくり合わせ味噌」「麺づくり鶏だし塩」「麺づくり濃厚豚骨」生麺の味わいを再現したノンフライタイプのカップ麺。スープの味に合わせて麺の太さを変え、ラーメン屋さんの味わいを目指しています。

### チルド食品



「えびシュウマイ」



「かにシュウマイ」



「黒豚シュウマイ」

好調に推移している「えびシュウマイ」「かにシュウマイ」。「黒豚シュウマイ」を加えてシリーズ品を充実させました。

### 生麺

#### [焼そば3人前シリーズ]



「焼そば3人前」



「塩焼そば3人前」



「醤油焼そば3人前」

発売から30年以上愛され続けるマルちゃん“焼そば3人前”。2007年1月より“醤油焼そば3人前”を加え、シリーズ品を充実させました。



「冷生ラーメン3人前」



「玉うどん3食入」



「醤油ラーメン3人前」

定番の“3食シリーズ”。お求めやすい価格と安定した品質によりお客様の支持を得ています。

### 加工食品

#### [米飯]



「あったかごはん」お米本来の「味」と「香り」が活きています。

#### [調味料]



「だしの素100g」鰹風味豊かなだしの素。顆粒タイプの4袋入り。



「チャーハンの素 焼豚」

#### [スープ]



「もずくスープ5P」「カップ入りめかぶとオクラのスープ」健康ブームによって順調に推移しているフリーズドライスープ。



#### [魚肉ソーセージ]



「栄養機能」を兼ね備えたソーセージ。



# 会社情報 (2007年9月30日現在)

## ■ 会社概要

**創立** 1953年3月25日  
**本社** 〒108-8501  
 東京都港区港南二丁目13番40号  
 電話 (03) 3458-5111 (代表)  
**資本金** 189億6,952万円  
**従業員数** 1,669名 (男性1,137名 女性532名)  
**事業所数** 工場7、冷蔵庫13、支店・営業所28  
**関係会社** 国内関係会社25社  
 (うち、連結子会社16社、非連結子会社7社、関連会社1社、  
 持分法適用会社1社)  
 海外関係会社9社  
 (うち、連結子会社6社、非連結子会社3社)

## ■ 役員

代表取締役会長	深川 清司	常勤監査役	北村 勝久
代表取締役社長	堤 殷	常勤監査役	南 守之
専務取締役	織田 睦彦	社外監査役	高良 明
常務取締役	成滝 勝郎	社外監査役	森 勇
取締役	目羅 甚一		
取締役	谷口 文夫		
取締役	佐藤 勝英		
取締役	山内 寛		
取締役	山下 透		
取締役	三浪 博行		
取締役	菅原 謙二		
取締役	小畑 一雄		
取締役	手嶋 専市		

## ■ 主要グループ企業

### 【国内連結子会社】

- 八戸東洋株式会社
- 伊万里東洋株式会社
- 甲府東洋株式会社
- 株式会社フレッシュダイナー
- フクシマフーズ株式会社
- 株式会社東京商社
- 東洋冷凍株式会社
- 銚子東洋株式会社
- サンリク東洋株式会社
- ユタカフーズ株式会社
- 株式会社酒悦
- 石狩東洋株式会社
- 新東物産株式会社
- ミツワデイリー株式会社
- 東部貿易株式会社
- 築地東洋株式会社

### 【海外連結子会社】

- MARUCHAN, INC.
- MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V.
- SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- PAC-MARU, INC.
- SEAFREEZE LIMITED PARTNERSHIP

### 【非連結子会社他】

- ヤイズ新東株式会社
- 海南東洋水産有限公司
- 三幸養魚株式会社
- 湛江東洋水産有限公司
- 埼玉東洋株式会社
- 株式会社いらご研究所
- 湘南東洋株式会社
- 青島味豊調味食品有限公司
- 東和エステート株式会社
- 仙波糖化工業株式会社 ※
- スルガ東洋株式会社
- ※持分法適用関連会社
- 下田東水株式会社



# 株式情報 (2007年9月30日現在)

## ■ 株式の状況

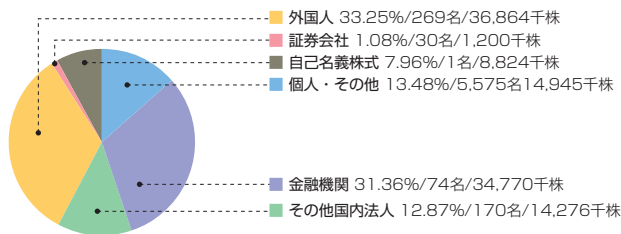
- 発行可能株式総数 ..... 427,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 110,881,044株
- 株主数 ..... 6,119名

## ■ 大株主の状況

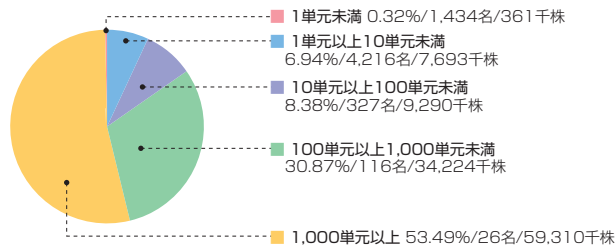
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,058	6.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,597	3.52
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,204	3.14
株式会社三井住友銀行	2,900	2.84
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	2,416	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,361	2.31
マルちゃん 持株会	2,208	2.16
バンクオブニューヨーク・シーエムクライアントアカウント ジェイビーアールティ アイエスジー エフイーエイシー	2,134	2.09

(注) 1. 出資比率は自己株式(8,824,747株)を控除して計算しております。  
2. マルちゃん持株会は従業員持株会であります。

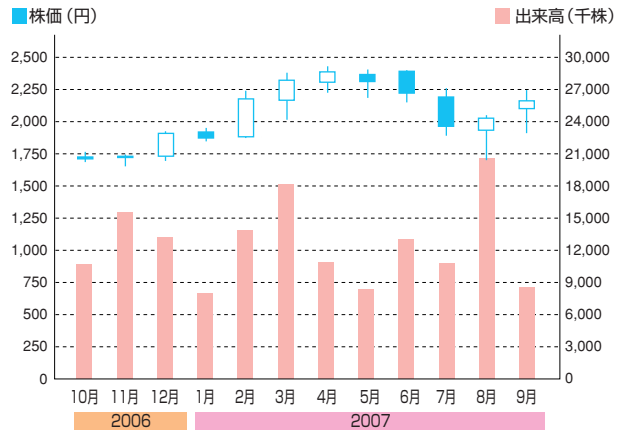
## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 所有株数別株式分布状況



## ■ 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



## 株主優待制度

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

2007年3月期の実績としましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品をそれぞれ6月に進呈させていただきました。



3,000円相当の製品例

## ■ 株式事務手続きのご案内

当社の株式事務を取扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様への住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定などの用紙のご請求を電話及びインターネットのホームページで24時間受付しておりますので、どうぞご利用ください。

## ■ 電話によるご請求

受付フリーダイヤル 0120-87-2031（操作の方法は、音声案内にしたがってください。）

## ■ インターネットによるご請求

ホームページアドレス [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

※証券保管振替制度をご利用の方は、恐れ入りますが、お取引の証券会社へご照会ください。

情報満載の当社HPもご覧ください。

<http://www.maruchan.co.jp>

東洋水産の企業サイトでは、事業紹介や商品情報・IR情報を始めとした最新ニュースを掲載しております。また、マルちゃん製品を使った「オリジナルレシピ集」や「CMライブラリー」など、さまざまな当社商品のあれこれやお役立ち情報をご案内しています。どうぞぜひ一度ご覧ください。



## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし、電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (アドレス) <a href="http://www.maruchan.co.jp">http://www.maruchan.co.jp</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031（フリーダイヤル）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所（市場第一部）

# マルちゃん雑学館 Vol.7

## 「緑のたぬき」のたね



1980年、赤いきつねの発売2年後に姉妹品として誕生した緑のたぬき。正式な名前は、「緑のたぬき天そば」ですが、どうして天ぶらそばが、「緑」で「たぬき」になったんでしょう？

開発にあたっては、赤いきつねとの相乗効果を考え、パッケージデザインの基調色に、赤の補色の緑が採用され、ネーミングの「たぬき」も、具に天ぶらを使ったことと、「きつね」との連動から、最も収まりの良い名前に落ち着きました。

関東で「たぬき」と言うと、元々は天ぶらの「種（たね）」抜きが、→「たねぬき」→「たぬき」と変化し、「揚げ玉」を指していました。小えびのかき揚げ天ぶらが入った緑のたぬきは、正確には「たぬき」とは呼べないかもしれませんが、「たぬき」にだまされたと言わず、手間離かけて一匹一匹油で揚げた小えびのカリッとした食感をお楽しみください。

なお、大阪の街では、「たぬき」は「油揚げ入りのそば」、京都の「たぬき」は「あんかけタイプの油揚げ入りうどん」と、所によって形を変えています。

## 東洋水産株式会社

 TOYO SUISAN

〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号

TEL (03) 3458-5111 (代表)

ホームページ <http://www.maruchan.co.jp>

 R100  
高級100%配合率100%再生紙を使用  
しています

 PRINTED WITH  
SOY INK  
地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています